

2022.6.29 (第2版)



第37回 ソフトウェア技術者協会 総会

日時： 2022年6月29日(水) 18:30~19:00

場所： Hikarieカンファレンス RoomB & オンライン (Zoom)

議題：

第一号議案 2021年度事業報告

第二号議案 2021年度決算報告

第三号議案 2022年度事業計画

第四号議案 2022年度予算審議

第五号議案 役員改選

第一号議案 2021 年度事業報告

例年通り、ソフトウェア・シンポジウム 2021 を開催した（開催場所は大分市であったが、新型コロナの影響でオンライン開催とした）。その他、フォーラムや各種分科会活動を積極的に行った。

ソフトウェア・シンポジウム 2021 の概要は次のとおり。

第 41 回 Software Symposium 2021

期日：2021 年 6 月 2 日（水曜日）～ 4 日（木曜日）

会場：ホルトホール大分 → オンライン開催

参加者：127 人

実行委員長：森 秀文（大分県情報サービス産業協会）、吉田 和幸（大分大学）

プログラム委員長：梅田 政信（九州工業大学）、小田 朋宏（SRA）、
日下部 茂（長崎県立大学）

ワーキング・グループ：10

論文・Future Presentation・報告セッション：9

論文採択数：26（研究論文 14 本、経験論文 5 本、事例報告 5 本、FP 2 本）

フォーラムの開催実績は次のとおり。

2022.02.17	SEA Forum in Mar. 2022	自然言語処理連続セミナー 第 2 回 深層学習を用いたテキスト分析
2022.01.12	SEA Forum in Feb. 2022	全体論的視点からプログラムを眺める
2021.10.03	SEA Forum in Oct. 2021	連続セミナー『ハザードとレジリエンスの分析 の新潮流 STAMP と FRAM』 第 1 回 モデリング手法 STAMP と FRAM の概要
2021.08.04	SEA Forum in Sep. 2021	自然言語処理連続セミナー 第 1 回 深層学習時代の自然言語処理
2021.07.12	SEA Forum in July. 2021	ガンダム GLOBAL CHALLENGE” から学ぶ

ソフトウェア・シンポジウム 2021 のワーキング・グループ「プロセス設計の重要性について語らう会」の開催後、分科会としての設立申請があり、6/30 の SEA 幹事会で、「プロセス設計分科会(SIGPD)」が承認された。

国際交流に関しては、海外との行き来ができないこともあり、企画の検討は断念した。

情報発信としては、WEB／メールと SEA MAIL を用いている。

メールについては、「SEA 事務局通信」として、SEA のイベントの案内、後援／協賛をしているイベントの案内を中心に、タイミングよく発信をした。

SEA MAIL として、次の 2 つを発行した。

2021

Vol. 21 No. 1-12

田中久美子教授「全体論的視点からプログラムを眺める」 玉井哲雄

山の恵み森の恵み 藤野誠治

2022

Vol. 22 No. 1-3

フォーラム報告「深層学習を用いたテキスト分析」 新森昭宏

スライド「深層学習を用いたテキスト分析」 難波英嗣

スライド「全体論的視点からプログラムを眺める」 田中久美子

SEA MAIL の再刊後の一覧については、次を参照方

・ <https://sea.jp/blog/category/seamail/>

幹事会、支部活動、SIG 活動、ソフトウェア・シンポジウム、フォーラムなどにおいて、リモートで参加できる環境を提供するために、Zoom (Charge Name: Standard Pro Annual, Quantity:1) と Dropbox (Professional) を購入し、活用した。

決 算 報 告 書

(第 36 期)

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

ソフトウェア技術者協会

電話： - -

貸借対照表

2022年 3月31日 現在

ソフトウェア技術者協会

(単位： 円)

資産の部

【流動資産】

現金及び預金	6,505,107	
流動資産合計		6,505,107
資産の部合計		6,505,107

負債の部

【流動負債】

買掛金	2,640	
流動負債合計		2,640
負債の部合計		2,640

純資産の部

【株主資本】

利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	6,502,467	
その他利益剰余金合計	6,502,467	
利益剰余金合計	6,502,467	
株主資本合計		6,502,467
純資産の部合計		6,502,467
負債及び純資産合計		6,505,107

損 益 計 算 書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

ソフトウェア技術者協会

(単位： 円)

【売上高】

売 上 高	692,000	
売 上 高 合 計		692,000
売 上 総 利 益 金 額		692,000

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費合計		819,270
営 業 損 失 金 額		127,270

【営業外収益】

雑 収 入	55	
営 業 外 収 益 合 計		55
経 常 損 失 金 額		127,215
税引前当期純損失金額		127,215
当 期 純 損 失 金 額		127,215

販売費及び一般管理費内訳書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

ソフトウェア技術者協会			(単位： 円)
会 議 費		192,253	
通 信 費		147,867	
寄 付 金		100,000	
雑 費		29,150	
支 部 支 援 費		350,000	
販売費及び一般管理費合計		<u>819,270</u>	

監査報告書（写し）

監査報告書

私は、ソフトウェア技術者協会の2021年4月1日から2022年3月31日までの会計年度における会計業務の監査を行いました。

監査の方法については、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確さを検討致しました。

その結果、貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費内訳書は、会計帳簿の記載金額に基づいて作成され、協会の収支状況及び財政状態を正しく示しており、適法かつ正確であることを認めました。

2022年6月26日

ソフトウェア技術者協会

会計監事 乗松 聡

第三号議案 2022 年度事業計画

実務を各幹事で分担する運営体制を維持し、より積極的に会の活動を行っていく。また、会員相互のコミュニケーションを促進する。

1. 会員数

現正会員数：146 人

新規会員（昨年度）：4 人

名誉会員：7 人

会費未納の会員については、継続の確認を行う。

新規会員を増やすための施策を検討する。

2. 活動計画

(1) フォーラム

- ・方針：フォーラムの企画と運営を組織的な取り組みとする。
- ・内容：個別テーマと連続テーマの2つに分ける。連続テーマについては、数年かけてフォローする。
- ・狙い：良質な議論の場としての認知を広げる。SEA としての知識の蓄積。
- ・方法：内容、講演者からのリクエスト、社会情勢などから、集合、オンライン、ハイブリッドの中から適切な方法を選択する。
- ・連続テーマ案：
データサイエンス、AI（強化学習）、DX、ブロックチェーン／分散データベース、セキュリティ、信頼性／安全性、プロジェクト・マネジメント
- ・今年度の連続テーマの計画：
 - － 「自然言語処理」連続セミナー
 - － 「ハザードとレジリエンスの分析の新潮流 STAMP と FRAM」連続セミナー

(2) 特別フォーラム

SEA のコミュニティ以外のより幅広い方々へ SEA の存在と活動内容を知ってもらうという目的で、特別フォーラムを開催する。年度毎の開催頻度や開催方法については、幹事会で検討する。

(3) 支部活動，分科会活動の強化

現在，以下の6つの支部と8つの分科会が活動している。

支部活動：

北海道支部
東北支部
名古屋支部
関西支部
九州支部
上海支部

分科会活動：

環境分科会 (SIGENV)
教育分科会 (SIGEDU)
ソフトウェアプロセス分科会 (SPIN)
フォーマルメソッド分科会 (SIGFM)
ソフトウェア品質保証分科会 (SIGSQA)
ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)
システムオブシステムズ分科会 (SIGSoS)
プロセス設計分科会 (SIGPD)

支部活動，分科会活動は，国内外のソフトウェア技術者の交流の場として大切なものなので，この2つの活動を積極的に支援する。具体的には，イベント開催の相談や活動費用の提供を行う。

また，新規に立上げを予定している支部活動，分科会活動があれば，積極的にサポートする。具体的には，ソフトウェア・シンポジウムのワーキング・グループやチュートリアルリーダーやメンバに，議論を継続する場として提供できる事を伝える。また，興味深い活動をしている方々がいれば，SEA 会員になっていただいたうえで，支部活動や分科会活動で実践することを提案する。

さらに，支部活動，分科会活動の発信力を強化するために，独自の Web サイトを立ち上げることも支援する。現在，独自の Web サイトを持っている活動は以下のとおりである。

支部活動： 北海道支部，東北支部，関西支部

分科会活動：教育分科会 (SIGEDU)，ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)，
システムオブシステムズ分科会 (SIGSoS)

(4) 今年度のイベント計画

- 6月 ソフトウェア・シンポジウム 2022 in 盛岡（ハイブリッド開催）
- 10月 第36回 SEA 教育ワークショップ 2023
- 12月 ソフトウェア信頼性研究会第16回ワークショップ
- 1月 第31回 SEA 新春教育フォーラム 2023

(5) 国際会議の企画

今までの関係と実績のある韓国，中国，台湾，ミャンマー，ベトナムなどとの国際会議を中心に，企画の検討を開始する。

(6) SEA MAIL の電子版の発刊

SEA フォーラム開催時に報告書作成担当を決め，SEA フォーラムの実施記録を SEA MAIL として発行できるようにする。また，幹事会で SEA MAIL への投稿を呼びかけ，持ち回りで担当することを検討する。

(7) 幹事会

基本的には，毎月1回開催する予定で開催スケジュールをたてる。

3. 検討事項

(1) 学生会員の追加（会則の変更であり総会で議決する）

■理由：

- ・将来的にソフトウェア技術に関する職業や研究に携わる方々に貢献する。
- ・さまざまな年代の方が参加できるようにする。

■会則の変更内容：

<現在の会則>

第二章 会員

（会員の種別）

第5条 本会の会員は正会員，賛助会員及び名誉会員で構成される。正会員は個人とし賛助会員は本会の趣旨に賛同する法人とする。名誉会員は，本会に特に功績のあった個人で，幹事会で承認とする。

<修正後の会則案>

第二章 会員

(会員の種別)

第5条 本会の会員は正会員、**学生会員**、賛助会員及び名誉会員で構成される。正会員と**学生会員**は個人とし賛助会員は本会の趣旨に賛同する法人とする。名誉会員は、本会に特に功績のあった個人で、幹事会で承認とする。

■細則の変更案（総会では内容を検討し、幹事会で議決する）：

(入会金)

第1条 本会の入会金は正会員 3,000 円、**学生会員 1,500 円**とする。

(会費)

第2条 本会の会費は次の通りとする。

正会員 年額 5,000 円

学生会員 年額 無料

賛助会員 年額 1 口 100,000 円（1 口以上）

- 2 正会員、賛助会員は毎年度の会費を前納しなければならない。
- 3 正会員は毎年6月に会費を納入しなければならない。
- 4 賛助会員は、その会費の最初の有効期限は入会した月から1ヶ年とし、以降1ヶ年毎に更新していくものとする。
- 5 賛助会員に対しては、当会の主催するシンポジウム、セミナー等の行事に際し招待または優待等の特典を与える。
- 6 **学生会員は、大学院（修士課程および博士課程）、大学学部、短期大学、高等専門学校およびこれらに準ずる学校に在学する個人とする。ただし、社会人学生を除く。**

(2) 会計監事の補充

第四号議案 2022年度予算審議

予算案

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

支出の部		収入の部	
事務委託費	500,000	新入会費	60,000
印刷費	0	更新会費	600,000
通信費	150,000	賛助会費	100,000
会議費	0	イベント収入	0
旅費支援	250,000	雑収入	1,500
支部・SIG支援費	500,000		
国際活動費	200,000	資産からの繰入	1,240,000
会議室費	320,000		
雑費	50,000		
予備費	31,500		
合計	2,001,500	合計	2,001,500

予算書に関する註記

資産から、124万円を今年度繰り入れ、イベント開催費用とする（対応する支出側は、支部・SIG支援費、国際活動費他である）。なお、イベントが具体化し、費用に増減が予定される場合、各支出科目の費用振り分けを変更する案を作成し、幹事会で決議するものとする。

第五号議案 役員改選

役員（案）

代表幹事

小笠原秀人

幹事（五十音順）

安達賢二	荒木啓二郎	石川雅彦	伊藤昌夫	岡本圭史
小川明彦	落水浩一郎	岸田孝一	熊谷 章	栗田太郎
小林 修	小松久美子	酒匂 寛	杉田義明	鈴木裕信
玉井哲雄	富松篤典	中谷多哉子	中野秀男	中森博晃
中山優紀	奈良隆正	野中 哲	野村行憲	端山 毅
平尾一浩	本多慶匡	三輪 東	宮田一平	米島博司

会計監事

乗松 聡

名誉会員

荒木啓二郎	岸田孝一	熊谷章	玉井哲雄
中野秀男	松原友夫	山崎利治	
落水浩一郎（新任）	杉田義明（新任）	奈良隆正（新任）	